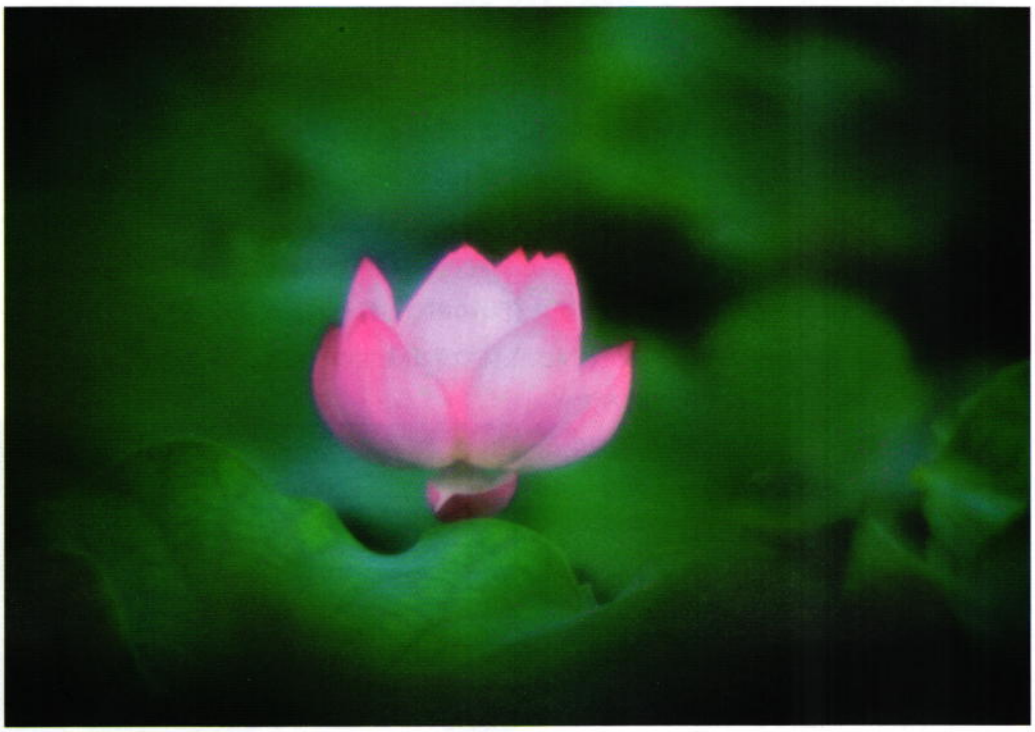
西多摩医師会報

創刊　昭和47年７月　　第308号　平成10年８月



田村啓彦

目　次

		頁
1．納涼の夕べ開催	広報部	2
2．理事会報告	広報部	5
3．会員通知・医師会の動き	事務局	9
4．各部だより		
学術インフォメーション	学術部	12
介護保険モデル事業実施への提言	広報部	16
青梅市立総合病院外来診察分担表	広報部	17
5．同好会短信		
ワイン愛好会だより	岩尾芳郎	18
6．伝言板		
多摩医学会・演題募集	広報部	18
7．お知らせ・訃報	事務局	19
8．表紙のことば	田村啓彦	20
9．あとがき	高水松夫	20

http://www.hkr.or.jp/ishikai/

第７回 西多摩医師会「納涼の夕べ」開催

第７回西多摩医師会「納涼の夕べ」が、平成10年７月15日（水）午後７時30分より、福生西友レストラン「コルネット」で開催されました。

梅雨明け間近の白南風の中、約60名が参加し、片平理事の司会で会は盛大に進行しました。

宮川会長の開会の辞に始まり、青梅市立総合病院星院長の音頭で乾杯を行い、野村有信都議会議員からは、西多摩医師会への謝意と期待を含めた挨拶がありました。

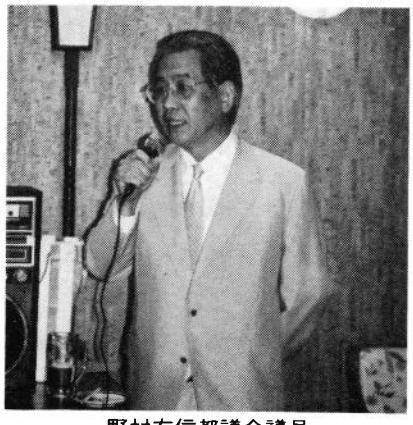
生ビールで暑気を払い、バイキング料理を楽しみながら、病診の会員の先生方の交流と歓談の輪が広がる中、病院紹介が行われ、青梅市立総合病院、公立阿伎留病院、福生病院、東京青梅病院、青梅三慶病院、日の出ケ丘病院、目白第二病院、大聖病院の院長によるスピーチが順次ありました。ついで、新入会員の紹介が行われ、沢井診療所の宮下先生、山本メンタルクリニックの山本先生、葉山医院の葉山先生の自己紹介がありました。

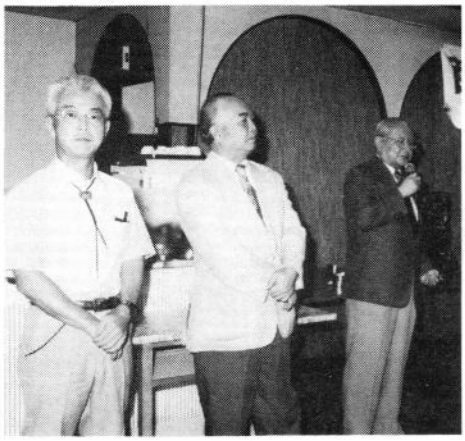
歓声と喚声につつまれた、恒例の大ビンゴ大会では、一等の乾燥機を高水先生、二等の天体望遠鏡を三浦先生、三等の折りたたみ式自転車を大聖病院の浜田先生があてられ、会場の雰囲気は華やかに盛り上がりました。

閉会の辞は真鍋副会長が述べ、会員の相互理解と病診連携をテーマにした「納涼の夕べ」は、盛会のうちに終了しました。

開会挨拶の宮川会長

乾杯の音頭　青梅市立総合病院 星院長

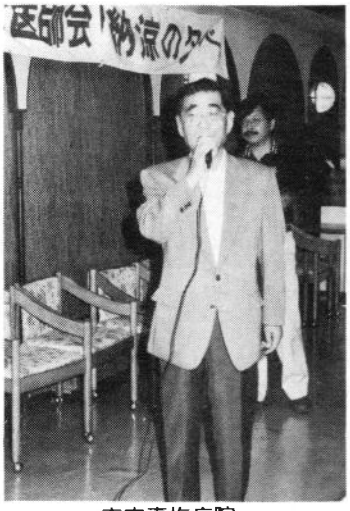

野村有信都議会議員



青梅市立総合病院

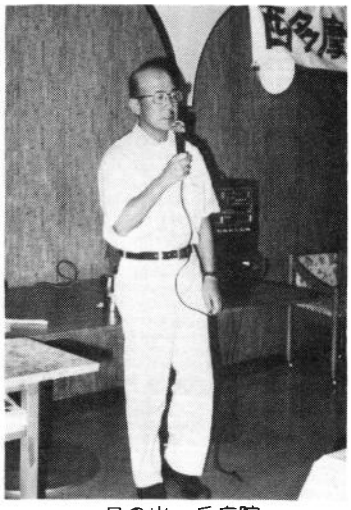
公立阿伎留病院

福生病院



東京青梅病院

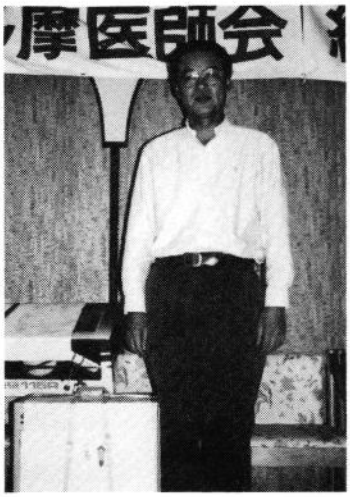
青梅三慶病院



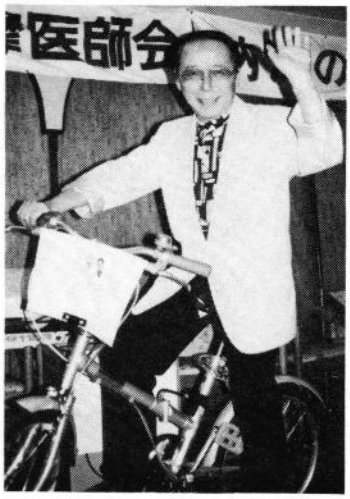
日の出ヶ丘病院

目白第二病院

大聖病院



一等　高水先生



三等　浜田先生

理事会報告 ★ Information

7月定例理事会　平成10年7月8日　西多摩医師会館

【1】 報告事項

（I）地区医師会公衆衛生担当理事連絡会報告 （丸野理事）

6月30日開催された。

① 平成10年度在宅難病患者訪問診療事業について
② 平成9年度東京都保健サービス評価支援事業報告書について
③ 東京都保健所における一般健康診断の見直しについて
④ ポリオ根絶証明のためのポリオ様疾患患者発生動向調査について
⑤ 日本医師会が実施する腸管出血性大腸菌感染症の治療に関する調査への協力について
⑥ 公衆衛生委員会の答申について
⑦ 「がん検診の有効性評価に関する研究班」の報告書について

（II）各部報告 （担当部長）

（総務部） 7月12日 西多摩三師会総会予定。
7月13日 都庶務担当理事連絡会。（西多摩医師会当番）
（産業医） 7月25日 西多摩産業医研修会。
（地域医療） 7月12日 病院・救急委員会。
7月26日 地区医師会介護保険担当者連絡会開催予定。

（III）各地区会よりの報告 （各地区長）

（青　梅） 6月26日 総会。会館整備検討、介護保険モデル事業などにつき話し合い。
（福　生） 会館整備・かかりつけ医等につき、今後話し合って行く予定。
（羽　村） 7月14日 例会。
（あきる野） 7月6日 阿伎留病院将来構想について懇談会。
7月8日 あきる野市老人ホーム入所判定委員会。
（瑞　穂） 特になし。
（日の出） 〃

【2】 報告承認事項

（I）入会会員について ── 承認 ── （玉木理事）

（II）8月の定例理事会休会について ── 承認 ──

【3】　協議事項

（Ⅰ）フリートーキング

（Ⅱ）その他

移動理事会の件　　7月28日　福生市　幸楽園にて

7月定例理事会　　平成10年7月28日　　福生市　幸楽園

【1】　報告事項

（Ⅰ）地区医師会長協議会報告　　（宮川会長）

1．都医からの伝達事項

(1)　第25回医学会総会登録推進について

なるべく早目に登録をして頂きたいとのこと。

(2)　平成9年度日本医師会生涯教育申告書集計結果について

西多摩は33.3%であった。東京都の平均申告率は38.7%であった。

(3)　日本医師会認定産業医制度における研修会について

(4)　平成10年度地域医療研修推進事業の実施について

「かかりつけ医機能推進事業」及び「東京都医療機能連携推進事業」を補完する事業として新たに実施することになった。

(5)　東京都保健医療計画における「療養型病床群に係る病床の整備目標」案の作成に係る医療法第30条の3第9項の規定に基づく意見について

東京都医師会は、この整備目標案について、妥当なものとして同意した。

(6)　東京都が行う平成10年度医療機関等エイズ研修費補助の実施について

10月2日までに衛生局エイズ対策室へ申し込むこと。

(7)　(財)日本対ガン協会作成の「ガン征圧月間ポスター」及び「ガン予防ポスター」の掲示方について

(8)　東京都分煙化推進ステッカーについて

(9)　健やかＴＯＫＹＯの広告掲載依頼について

今後は原則として広告掲載回数の少ない医師会を順番に協力することになる。

(10) 学校保健・学校医に関するアンケート調査について

9月7日までにアンケート調査に協力して下さい。

(11) 重複・頻回受診者に係る老人医療の適正化対策の推進について

このような受診者に対して保健婦の訪問を強化する。

レセプト点検を強化する。

長期入院患者の家庭復帰の促進等を実施することになる。

(12) 介護保険モデル事業実施への提言について

上記事業実施医師会の経験から次のような提言をしている。

① 医師会は自治体に対しすべての必要事項について医師会と連絡をとるように申し入れる。

② 事業のあらましについての説明会、かかりつけ医意見書の書き方についても説明会を開くように。

③ 介護認定審査会について自治体に対し複数の委員を選び交替で出席させるように話し合うこと。会の資料は事前に配布を受け医師の目で確認しておく必要。

(13) 在宅介護支援センター設置状況について

162施設。

(14) 訪問看護ステーション設置状況について

211施設。

(15) 医療情報化に対する東京都医師会員の実態及び意識についてのアンケート調査について

(16) 将来の医療情報化（インターネット及び病診連携等を含めて）に対する東京都医師会での実態及び意識結果について

2．協議事項

なし

3．地区医師会からの報告

4．その他

(1) 衛星放送受信機セット設置についてのアンケート調査の実施に伴う協力依頼について

(2) 平成10年度関東甲信越ブロック医師会協議会医師会共同利用施設分科会の開催について

8月29日(土) 12時より、パレスホテルにて開催する。

(3) 初期救急医療体制基盤整備事業（診療所に対する施設整備費補助）にかかる意向調査について

平成10年度のみの単年度補助事業である。この問い合わせは
東京都衛生局医療計画部救急災害医療課救急医療係（03－5320－4427）まで。

○東京都医師会役員名簿と職務分担
ケアネットＴＶ・メディカルchの案内

（II）病院・救急委員会報告　（坂本理事）

〔5／15〕

病院部会の設置について、理事会方針に沿って進めることを確認。
病院間の検討事項、病診間の検討事項を総合的に取り扱う。
従来から病院間の連絡機会が乏しかった事情から、現在西多摩地区病院協会が結成中であり、病院間のまとまりを熟成することと病院間の問題を掘り起こす場として当面は併存とし、提起された問題については病院部会で検討する。

〔7／10〕

○病院・救急委員会と病院部の関連について
救急は病院と切り離せない問題であるから病院部会で処理することとし、従来の病院・救急委員会（病院・救急担当）は廃止する。
病院部は地域医療部と並列の部とする。

○病院部委員について
医師会会員のうち病院会員（ＡまたはＢ会員）とする。ただし、病院と診療所に関わる事項の検討は、地域医療部委員会委員と病院部委員会委員の合同委員会で行なうこととなる。

病院部は病院と診療所の相互協力により地域完結医療の達成を活動の目的とする。介護施設に統合される各福祉施設については将来合同会を検討する必要がある。

（III）多摩地区庶務担当理事連絡会報告　（玉木理事）

① 介護保険
講習会開催、協議組織の有無について。

② 医師会館
自己所有、駐車台数、内部の施設機能について。

①②に関してアンケートを行い集計した。
今後のあり方を検討する上で、この結果も参考にしていただきたい。

（IV）納涼の夕べ収支報告　（片平理事）

（Ⅴ）各部報告　　（各担当部長）

（産業医）　西多摩医師会産業医研修会 120名参加。

（Ⅵ）各地区会よりの報告　　（各地区長）

（青　梅）　会館整備についてのアンケート集計中。

（福　生）　休日診療が旧福生保健所に移転したことに伴い薬局運用の検討が必要。

（羽　村）　７月14日　地区会。

（あきる野）会館整備委員会を設置することに、地区会では異論なし。

（瑞　穂）　特になし。

（日の出）　〃　。

（Ⅶ）その他

【2】　報告承認事項

（Ⅰ）入会会員について　　── 承認 ──　　（玉木理事）

（Ⅱ）あきる野市立小学校校医の推薦について　　── 承認 ──

下　村　　禎 先生

（Ⅲ）新規会員年会費査定について　　── 承認 ──

【3】　協議事項

（Ⅰ）フリートーキング

（Ⅱ）その他

会員通知

○学術講演会（７／13）
○日本大学医師会産業医研修会
○「医療品等安全性情報報告制度」へのご協力についてお願い
○ＨＩＶ感染防止のための「医療事故時の緊急連絡先リスト」の差し替えについて
○平成10年度腸管出血性大腸菌感染症の治療に関する調査への協力お願い
○エンテロウイルス７１型に関する情報提供について
○医療関係実態・意向調査
○㊗、㊙、㊞、㊟医療証をお持ちの方へ
○介護支援専門員実務研修受講試験「受験の手引」
○城北ブロック産業医研修会の開催について
○学術講演会（７／29）

各部だより

学術部 Information

〈学術講演会聴講メモ（1）〉

平成10年６月16日(火)

演　題：「慢性関節リウマチ(ＲＡ)・変形性関節症(ＯＡ)
　　ー最近の薬物療法ー」

講　師：青梅市立総合病院副院長　桜　井　徹　志 先生

（１）ＲＡの診断

(ｱ) 早期ＲＡの診断基準（日本リウマチ学会）

① ３関節以上の圧痛又は他動運動痛

② ２関節以上の腫脹

③ 朝のこわばり

④ リウマチ結節

⑤ 血沈20 mm 以上又はＣＲＰ陽性

⑥ リウマチ因子陽性

①～⑥のうち３項目以上を満たせばＲＡ。

(ｲ) 好発関節

ＰＩＰ・ＭＰ、手関節に好発。（ＯＡではＤＩＰ）

（２）ＲＡの治療方針

ステージⅠ：関節の変化なし

ステージⅡ：関節エロージョンあり

ステージⅢ：関節変形あり

ステージⅣ：骨癒合あり

(ｱ) 日常生活の注意（ステージⅠ～Ⅳ）

(ｲ) 理学療法　　（ステージⅠ～Ⅳ）

(ｳ) ＮＳＡＩＤＳ　（ステージⅠ～Ⅳ）

(ｴ) 免疫調節療法　（ステージⅠ～Ⅳ）

(ｵ) 副腎皮質ステロイド（ステージⅡ～Ⅳ）

(ｶ) 免疫抑制剤　　（ステージⅢ～Ⅳ）

(ｷ) 整形外科的手術（ステージⅢ～Ⅳ）

（３）ＲＡの寛解基準

① 朝のこわばりが15分以上持続しない

② 疲労感がない
③ 関節痛がない
④ 関節の圧痛又は運動痛がない
⑤ 関節又は腱鞘に軟組織の腫脹がない
⑥ 血沈、男20mm以下、女30mm以下
①～⑥のうち5項目以上を満たし、これが2ヶ月以上持続する場合、寛解。

（4）痛みの除去

(ア) ＮＳＡＩＤＳ：特徴を生かした使用法
① 強力で速効性：ジクロフェナク、ロキソプロフェン（ジクロフェナクよりやや弱い）
② 作用持続：アンピロキシカム（就寝時使用で朝のこわばりを軽減）
③ 胃腸障害を起こし易い患者：座薬・プロドラッグ・ＣＯＸ－２選択性薬剤
④ 腎障害を持つ患者：スリンダック（肝代謝）・ＣＯＸ－２選択性薬剤
⑤ ＤＤＳによる差：座剤・塗布剤・シップ

(イ) プレドニゾロン5mgの使用

(ウ) ＤＭＡＲＤＳ：妊婦には使用できない
① 金製剤：金チオリンゴ酸、オーラノフィン
② ＳＨ系薬剤：Ｄペニシラミン・ブシラミン・ロベンザリット
③ その他：サラゾスルファピリジン
④ 免疫抑制剤：ミゾリビン・メトトレキセート
外来ではオーラノフィン・サラゾスルファピリジンが使い易い。

(エ) ＮＳＡＩＤＳの副作用：胃腸障害・高血圧・喘息・無菌性髄膜炎（イブプロフェン）・血液障害

(オ) ＮＳＡＩＤＳ使用上の注意
① 薬剤の性質・特徴を知る
② 有効性を確かめる
③ 無効の場合、系統の異なる他剤に変える
④ 常用量を基準にし、むやみに増量しない
⑤ 多剤併用は避ける
⑥ 高齢者や臓器障害者は慎重に
⑦ 食直後に服用
⑧ 副作用のチェックに血液検査

（5）最近の話題

(ア) ＣＯＸ－１とＣＯＸ－２
ＣＯＸ－１は血小版・胃・腎に多く分布し、ＣＯＸ－２は炎症組織に存在する。ＣＯＸ－２選択性ＮＳＡＩＤＳは副作用が少ない。
ＣＯＸ：シクロオキシグナーゼ

(イ) ＮＳＡＩＤＳは大腸癌発生を防止する。（大腸癌の発生にＣＯＸ－２の発現が必須）

（文責：野本）

〈学術講演会聴講メモ（2）〉

平成10年７月13日(月)

演　題：「小児のプライマリーケアー
腹痛・嘔吐・下痢をめぐって」

講　師：青梅市立総合病院小児科医長　林　　良　樹 先生

小児の腹痛・嘔吐・下痢などの診断・治療に際しては、小児の年齢（新生児期、乳幼児期、学童期以降)、季節的背景などを考慮しなければならない。

腹痛の原因として頻度の多いものとして便秘、急性虫垂炎、腸重積、感染性胃腸炎などである。便秘は新生児期を除くと機能性便秘が多く、糞塊が認められる場合には浣腸により速やかに腹痛は消失する。急性虫垂炎は近年減少傾向にあるが穿孔例は増加傾向にある。１才以下では稀であるが、低年齢である程、症状・所見に乏しく診断が遅れやすい。白血球、ＣＲＰ、腹部Ｘ線上の糞石などの有無を参考にして、経時的な診察が重要である。また、近年、超音波検査による診断率も向上し、虫垂が抽出される場合は異常所見である。腸重積の８割前後は２才以下の発症であり、三主徴として反復性腹痛（号泣)、嘔吐、血便であるが、必ずしも揃っているとはかぎらない。その他比較的稀であるが注意を要する疾患として、胸部疾患（右下肺野の肺炎や胸膜炎)、川崎病による胆嚢腫大や総胆管嚢腫、外傷性脾破裂、アレルギー性紫斑病では、初発症状として腹痛のみを訴える場合もあり、急性腹症として開腹される事もあるが、注意深い下肢の観察による小さな出血斑の発見が診断の決め手につながる。

嘔吐の原因では、新生児期では先天性消化器疾患が多く外科的治療が必要である。乳幼児期では感染性胃腸炎の比率が高く、病初期に半日程度、嘔吐が下痢に先行することが多く、この時期の経口補液の原則は、吐いたら飲ませるな（吐き気の強い間は１時間程度は何も飲ませない)、吐き気が落ち着いたら、水分を少量づつ頻回に飲ませることによって脱水を回避することが可能である。その他、小児期特有の疾患としては、アセトン血性嘔吐症（自家中毒症）は有名であり、２～10才の小児に起こる強いケトーシスを伴った反復性嘔吐発作を示す症候群であり、腹部の皮膚緊張の著しい低下は特徴的である。治療は糖分を含んだ点滴が著効する。鑑別疾患として、グリコーゲン貯蔵の異常に起因するケトン血性低血糖症、てんかんとの関連性が疑われる周期性ＡＣＴＨ－ＡＤＨ分泌過剰症などがある。また、慢性疾患においては、テオフィリンやジギタリスなどの薬物中毒にも注意が必要であり、定期的な血中濃度モニタリングが大切である。

下痢の原因として、最近の話題は腸管出血性大腸菌（Ｏ－157）に関するものが多い。Ｏ－157は主として牛の腸管内に生息しているが、糞便からの２次感染は多彩であり、汚染の可能性のある食品を特定することは困難なことが多い。潜伏期は他の食中毒に比べて長く３～４日間が典型的である。症状としては、下痢と腹痛であり、典型例では水様性下

痢が出現し、次第に頻回となり１～２日後に新鮮血便を認め、疝痛様の腹痛も高率に認める。発熱の合併は比較的少ない。生命予後を左右するものとしては、溶血性尿毒症症候群（ＨＵＳ）があり、好発年齢は乳幼児で、溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全を三徴とするが、腎不全は一過性の事が多く、中枢神経障害が最も生命予後に影響を与える。ＨＵＳ治療としての抗生物質投与に関して、米国などでは議論もあるが開業医では投与することが妥当であろう。具体的にはホスミシン（50～100mg／kg／day，3x，PO)、カナマイシン（50～100mg／kg／day，4x，PO)、ニューキノロン系など、ＳＴ合剤は不適。止痢剤（ロペミン、ブスコパン、ロートエキスなど）の投与は控える。乳酸菌製剤は使用する。ＨＵＳはすべての症例で下痢発症後２週間は注意が必要である。

最後に、腹痛、嘔吐、下痢の鑑別診断は難しい。診断に迷う例や全身状態の悪化した例に対して、安易な鎮痛剤、止痢剤あるいは抗生物質の投与は控え、小児科専門医へ転送することが重要である。

（文責：新井敏彦）

《9月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

1

日　時：平成10年９月16日(水)　19：30～
場　所：西多摩医師会館　青梅市西分町３－103　TEL 0428 (23) 2171
演　題：『不定愁訴と漢方』
慶応大学漢方クリニック　副部長　福　澤　素　子 先生

共催：(株)ツムラ

2

日　時：平成10年９月18日(金)　19：30～
場　所：西多摩医師会館　青梅市西分町３－103　TEL 0428 (23) 2171
演　題：『花粉症の病態と治療』
神尾記念病院　顧問　斉　藤　洋　三 先生

共催：住友製薬(株)

広　報　部

介護保険モデル事業実施への提言

― 地域福祉委員会小委員会報告より ―

1．各地区医師会は、実施主体である自治体に対して、事業開始前のなるべく早い時期に、事業についてのスケジュール、手順、手続き、介護認定審査会委員の推薦依頼等の必要事項について医師会と連絡を取るよう申し入れを行ってください。

（1）介護認定審査会等の人数については、医師会側は多くの時間も、多くの医師もさくことが大変困難と思われますので、この点の配慮を要望しておく必要があります。

また本事業開始の平成11年9月頃に向けて、多くの会員が交替して参加するなど、体験者が多い方が良いとの意見もあります。

（2）ケアプラン作成については、サービス担当者会議に参加または見学しておく必要あるとの意見があります。かかりつけ医のいない人、また大学病院や大病院の医師、及び区外の病院の医師をかかりつけ医としている人も多く、かかりつけ医意見書の書き方についての説明会等に出席出来ない医師も多いと予想されるので、自治体側での対応を申し入れてください。

2．各地区医師会においては、事業のあらましについての説明会、またかかりつけ医意見書の書き方についての説明会を事前に開催してください。その際、書類の提出期限の厳守、必要項目の記載漏れないように、また読みやすい字などを強調して下さるようお願いします。

（1）調査員の調査票と、かかりつけ医の意見書の結果とが一致しないことがありますので、介護認定審査会委員は事前に審査会資料の配布を受け、判定のポイントになる大切なところは、事前に下調べを行うことが必要と考えます。

（2）介護サービス調査票についても、理解をしておく必要があります。

（3）介護保険関係の諸施設、諸業種などの視察、見学、及び諸施設一覧表の整備等、早めに準備をしておくことが必要と考えます。

3．介護認定審査会について

少数の医師委員に審査会への出席が集中するおそれがあり、医師は、時間的に対応が困難になる場合があると考えられますので、複数の委員を選び、交替で出席出来るように、自治体側と話し合いを行う必要があります。一方、多くの医師委員がモデル事業を通じて、介護認定審査会を体験することは重要であります。この意味で委員以外の医師会会員が、傍聴、またはオブザーバーとして出席出来るよう自治体側と話し合いを行うことが必要です。

介護認定審査会を要領よく運営するために、要支援、要介護のランク別の境界線についての要点を簡単にまとめた表を使用すると良いとの意見がありました。

介護認定審査会の資料等は、事前に配布を受けて目を通しておき、かかりつけ医意見書については、医師の目で確認しておく必要があります。

以上が、小委員会で本事業を経験した、品川区、板橋区、保谷市、台東区浅草の各医師会からの提言です。

広報部

青梅市立総合病院　外来診察分担表

平成10年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
総合担当	桜井（徹）	幸野・室賀	伊藤	廣野	福岡	専門別担当医 循環器病　坂木・金沢・芦川 消化器病　宮川・細井・本田 血液病　今井・小山 リウマチ・膠原病　桜井（徹） 腎臓病　栗山・室賀・伊藤 甲状腺・糖尿病　原・桜井（紳）・須賀原 神経内科　松本
新患担当	宮川・金沢	今井	大玉	桜井（紳） 今井（直流）	室賀 小山（直流）	
血液内科			今井（直流）			
内分泌代謝科	原・須賀原	原	桜井（紳）		原	
腎センター	栗山	（室賀）	（伊藤）	栗山	（室賀）	
呼吸器科	大玉	高野		大玉	高野	
消化器科	宮川	細井	本田	宮川	細井 本田	
循環器科	坂本	芦川	金沢	坂本 金沢	芦川	
外科	正木	山田	宇田	宇田	山田	
胸部外科	佐野	金田	藤田	森田	佐野	
脳神経外科	森	宮崎	山田	鬼頭	宮崎	
整形外科	山崎 根本	堀田 本清	巣山 根本	堀田 本清	山崎 巣山	
産婦人科　妊婦	高野	古賀	小倉 陶守	石川	依光	平成10年2月2日から、外来医師予約制導入
産婦人科　婦人科	陶守 小倉 依光	陶守 小倉 依光 石川	高野 陶守 古賀 石川	高野 依光 小倉	高野 陶守 古賀 石川	
皮膚科	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	田嶋	
泌尿器科	友石	伊達	岡木	友石	宮崎	
小児科	林 加藤 崔	崔 八谷 平岡	林 八谷 加藤	崔 平岡 加藤	林 平岡 八谷	
眼科	瀬口、福井	瀬口、福井	医科歯科大	福井	瀬口、医科歯科大	
耳鼻咽喉科	根岸	根岸 戸叶	交代 {根岸 招へい}	戸叶	根岸 戸叶	
神経科　新患	石黒 平山		横田	石原	荻田	午後予約 月　石原 火　石原 水　石黒 木 金　石黒
神経科　再来　予約	石原	石原	石黒		石黒	
神経科　再来　フリー	平山	横田			荻田	
放射線科　午前	佐藤（IVR）	田中	佐藤	星（放治）	田中	
放射線科　午後				佐藤		
リハビリテーション科	中島（書類のみ）	中島	中島	中島	中島（書類のみ）	
口腔外科	吉田	佐野	休診	高久	交代 {佐野 今井}	

※　内科の　　は予約

同好会短信

ワイン愛好会だより

いつものメンバーが、いつものワインを持参して、納涼ワインパーティーを開きました。しかも今回は、料理も自前で……！　メニューは

福生トマトとモッツァレーラチーズのサラダ
夏野菜（ズッキーニ・ナス・赤ピーマン）のマリネ
タコとマグロのアンチョビ風味サラダ
銚子沖の磯ガキ
アンチョビとバジルのスパゲッティ

何とこれらは全て某会員の手作りでした。味の評判もマズマズで「道を間違えたんじゃないの」と冷かされていましたが、「素材が良かったからでしょ」との辛口の批評もあり、ワイワイガヤガヤといつもに増して大いに盛りあがり、ワインもシャンパンも全て飲み干してしまいました。次回はどうなることやら……。　　（岩尾芳郎）

伝言板

多摩医学会・演題募集

研究発表講演会　　12月５日(土)　ＰＭ２～５
於：北多摩医師会館３Ｆホール

《演題募集》

①演題は15題の予定で、原則として１医療機関１題とし、申し込み多数の場合は役員会で選別させていただき、誌上発表とすることもあります。演題は１題７分（質問２分）です。看護婦、検査技師等コメディカルの方の発表は医師会員との共同発表の形をとっていただきます。

②演題の申し込みは、西多摩医師会宛、締切りは９月20日、申し込みと同時に400字以内の抄録を必ずご提出下さい。なお、抄録に略号を使用の場合は説明を記入して下さい。

③研究発表は東京都医師会雑誌にも掲載されますので、講演会当日に原稿をご提出下さい。提出のない方は掲載ができません。

お知らせ

事務局より お 知 ら せ

平成10年９月（８月診療分）の

保険請求書類提出日

９月８日（火）

―― 正午迄です。 ――

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士　鈴木禧八先生による法律相談を毎月第２水曜日午後２時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

◎ **相談日**　**８月は12日（水）**
　　９月は９日（水）の予定です。
◎ 場　所　西多摩医師会館和室
◎ 内　容　医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
◎ 相談料　無　料（但し相談を超える場合は別途）
◎ 申込方法　事前に医師会事務局迄お申込み願います。
（注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃 報

坂井　守様（69才）

青梅市野上町４－２－16
坂井医院
院長　坂井也彦 先生
（ご尊父様）

去る６月30日逝去されました。
謹んでお悔み申し上げます。

原稿募集

毎月15日〆切

事務局又は
広報委員まで

表紙の絵画・写真・御意見・文芸・随筆・諸事百般……投稿自由

表紙のことば

羽村市内で見付けた2000年前の種子より発芽したといわれる蓮です。

蓮はこの時期早期に花を開き、内にハチの巣のような金色に輝く花托をのぞかせます。花は4日間開花して散りますが、初日から2日目の花がフォトジェニックといわれています。

この写真は昼休みに撮影したもので、花托はすでに見られませんが、開放付近で光がにじみ、軟らかな描写をするソフトレンズに、葉の反射を除去するため、偏光フィルターを付けてみたところ、お盆の時期に相応しい(？)不思議な雰囲気の写真になりました

田村啓彦

あとがき

先日、医師会主催の夕涼み会に出席しました。その時に行なわれたビンゴ大会で一等賞が当たってしまいました。賞品は衣類乾燥・室内除湿機で、これがなかなかの優れ物、重宝しています。

下手な鉄砲も数撃ちゃ……、出席していれば良い事もあるようです。

高水松夫

訃　報

福生市加美平1－6－1
福生病院

井沢良夫先生

大正5年7月24日生　享年81才

平成10年6月3日逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

社団法人　西多摩医師会　　平成10年8月1日発行
会長　宮川栄次　〒198-0044 東京都青梅市西分3—103　TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615
会報編集委員会　神尾重則
石井好明　片平潤一　清水佐和道　高水松夫
田村啓彦　樋口昭夫　横田卓史
印刷所　マスダ印刷　TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康の輝きをひろげる。

株式会社ビー・エム・エル
BML
本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(大代表)
総合研究所・〒350 埼玉県川越市的場1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

スズケンはTOTAL MEDICAL SUPPLYを目指します。

健康。すべての人の願い。

人々のしあわせを支える健康。
スズケンは、薬一粒の意味の重さを
大切にして、誠実ひとすじに
たゆまぬ努力をつづけてまいります。

医薬品総合商社
株式会社 スズケン
本社 名古屋市東区東片端町8番地
TEL 052(961)2331 〒461

●スズケンのセールスマンは全国120余ヶ所の営業所でみなさまのお世話になっております。

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します

臨床検査のパイオニア
保健科学研究所
本　　社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)